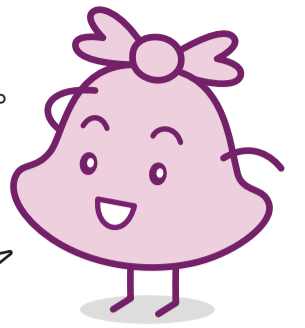


ざつ 雑がみ図鑑

出す時の
注意点

- 個人情報に記載されている部分は取り除いてください。
- 紙以外の部分は、できる限り取り除いてください。



新聞・ダンボール・紙パック以外のリサイクルできる紙類のことを“雑がみ”と言います。この図鑑を見て、分別しましょう！

<p>雑誌</p>	<p>本</p>	<p>チラシ</p>	<p>包装紙</p>	<p>紙袋</p>	<p>カタログ</p>
<p>紙の箱</p>	<p>プリント</p>	<p>メモ用紙</p>	<p>カレンダー</p>	<p>紙の芯</p>	
<p>はがき</p>	<p>封筒</p>	<p>ポスター</p>	<p>ティッシュペーパーの箱</p>	<p>パンフレット</p>	

その他のリサイクルできる紙類

<p>新聞</p>	<p>ダンボール</p>	<p>牛乳パック</p> <p>よりよいリサイクルのため紙パックとして分別してね! 中身は洗ってね</p> <p>スーパーの店頭回収などに出してください</p>
-----------	--------------	--

リサイクルできない紙類

これらの紙がまざると、リサイクルに支障をきたしますので、燃やすごみに出してください

<p>汚れているもの</p> <p>汚れた紙</p>	<p>ティッシュ</p> <p>よごれていなくても水に溶けにくいので不可</p>	<p>キッチンシート</p>	<p>水に溶けにくいもの (防水加工されているもの)</p> <p>紙コップ</p>	<p>食べものの容器</p> <p>ヨーグルトとカップ麺</p>	<p>ペーパータオル</p>	<p>和紙</p>	
<p>その他加工されているもの</p> <p>レシート</p>	<p>カーボン紙</p>	<p>靴やカバンの詰め物</p>	<p>写真</p>	<p>インクジェット紙</p>	<p>プラスチック加工されているもの</p> <p>破ったらビニールがでできます</p>	<p>圧着はがき</p>	<p>シール台紙</p>
<p>アルミなどが貼り付けられているもの</p>	<p>紙パック</p>	<p>包装紙</p>	<p>紙容器のフタ</p>	<p>金色や銀色の紙</p>			

紙マークがついていても、アルミ加工されているなどリサイクルできない紙類の場合がありますので注意しましょう

注意事項 / ・回収時の分け方や出し方については、回収業者と相談しましょう。

(例) チラシ、紙箱、封筒、はがき、紙製包装紙は、紙袋と一緒に入れて出すなど。

・処理施設の性能により、リサイクルできない紙類でも業者によっては、リサイクル可能な場合があります。